学校歯科健診

歯科健診

目的

「健康」、「要観察」、「要医療」の3段階に
スクリーニング(ふるい分け)すること

1.自分の歯や口の健康状態を把握する
2.健康診断で見つかった課題を健康教育、
　健康管理に生かす
3.自律的な健康管理を目指す

事前

養護教諭へ

目的、内容の確認

職員へ

健診の意義、目的について共通理解を図る

生徒へ

健診の予告、ねらいの説明

保護者へ

健診の趣旨や内容について理解と協力を得る

事後措置

健診後のお知らせ

スクリーニング(ふるい分け)の説明

健康教育へと発展

健康の大切さを認識

実践力を培う

保健学習や保健指導に繋げる

従来　「疾病の早期発見・治療勧告」

現在　　「心と体の健康つくり」

スクリーニングの分類

「異常なし」０：

　　指導や予防処置で健全な状態が保てる段階

「要観察」１：

　　定期的な観察が必要で、積極的な保健指導と予防処置の組み合わせを行うことにより、状態を進行させないことが可能な段階

「要精検」２：

　　医療機関での診断を受け、臨床的な対応が必要な段階。

スクリーニング

スクリーニング(ふるい分け)について
学校での健診は、歯及び口の健康状態を
「異常なし」、「要観察」、「要精検」の3段階にふるい分けして健康状態を把握するものです。

自分の歯や口の健康状態を把握する
健康診断で見つかった課題を健康教育、
健康管理に生かす
自律的な健康管理を目指す

「要観察」　CO,GO

健診項目

1.顎関節の異常

6.その他の異常

5.むし歯の状態

2.歯並び･かみ合わせ

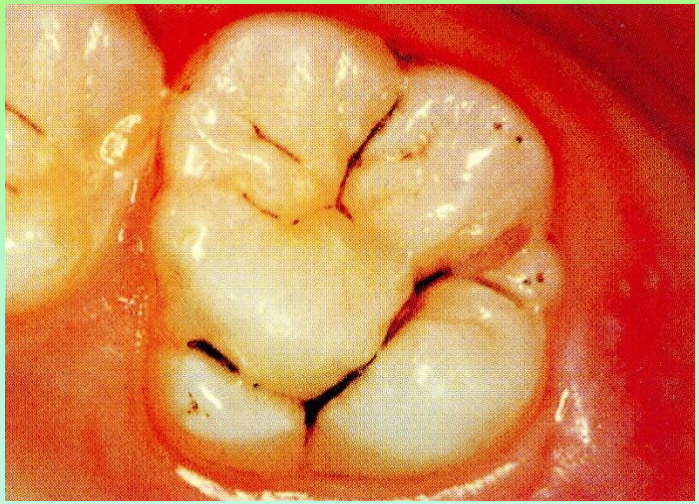
3.歯垢の状態

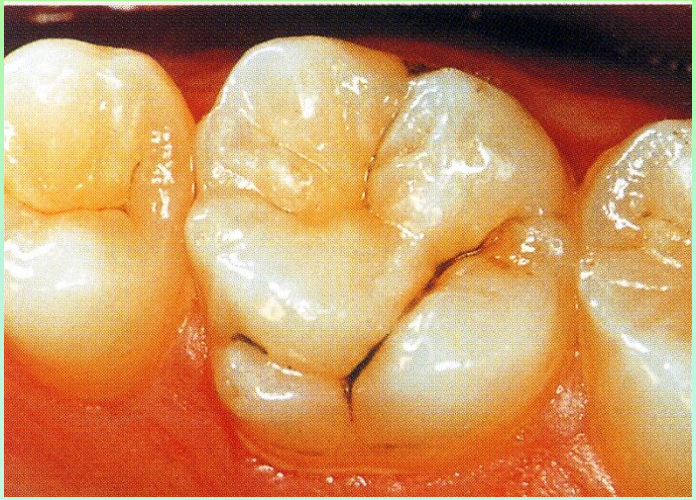
4.歯肉の状態

問題点

このように歯と同じ色の詰め物では治療の跡がわからない場合があります

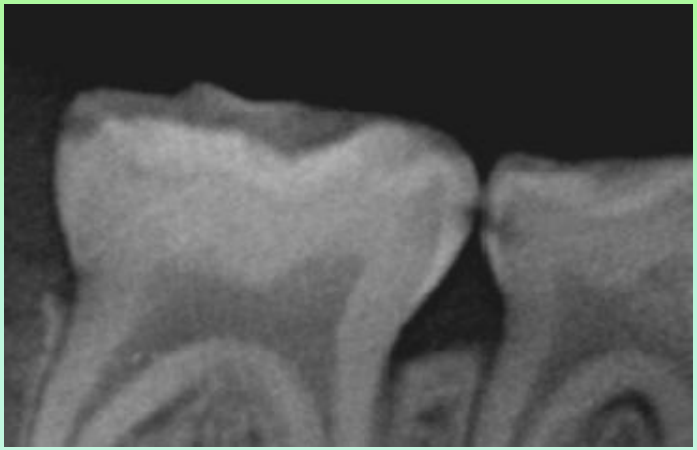
要観察





学校での保健指導や歯科医院でのフッ化物塗布等の
予防処置を定期的に受け８年経過した歯

要精検

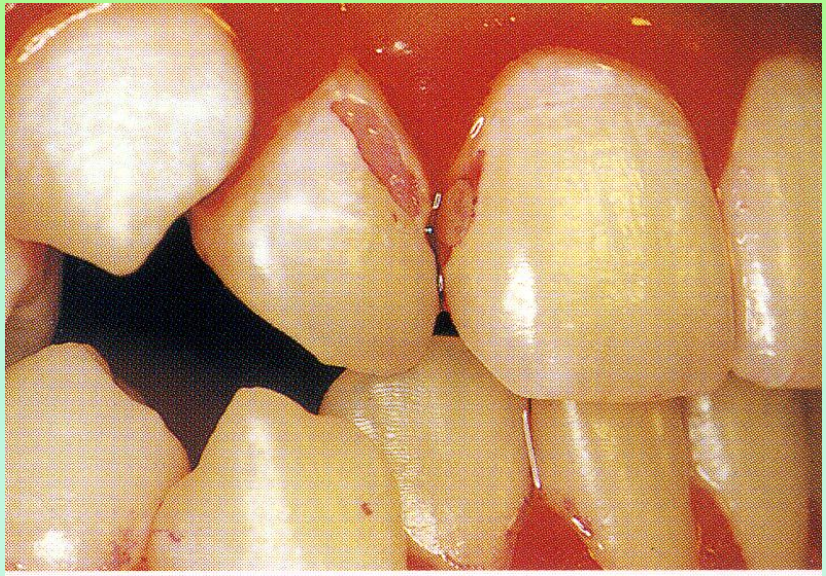


むし歯の疑いがありレントゲン撮影で
正確に診断できたもの

定期管理

フッ素の利用や定期的な指導により初期
むし歯が再石灰化し健全に保たれた場合

放置



予防や指導を行わなかった場合

まとめ

目的

「健康」、「要観察」、「要医療」の3段階に
スクリーニング(ふるい分け)すること

1.自分の歯や口の健康状態を把握する
2.健康診断で見つかった課題を健康教育、
　健康管理に生かす
3.自律的な健康管理を目指す